



東海コープ事業連合

サステナビリティレポート

2022

TOKAI CO-OP
Sustainability Report

生活協同組合連合会 東海コープ事業連合

東海コープ事業連合の事業の概要

2022年3月20日現在

■事業の概要

名称	生活協同組合連合会 東海コープ事業連合
本部	愛知県名古屋市中東区猪高町 上社字井堀25-1
設立	1994年4月1日
区域	岐阜県・愛知県・三重県
総事業高	922億円(2021年度)
出資金	9.86億円(2021年度)
職員数	640人(パート含む2022年3月20日現在)
東海3生協 の組合員数	985,939人(2022年3月20日現在)

■事業内容

商品事業	商品の仕入れ・調達、商品の開発・改善、 お申し出管理、品質管理業務・商品検査業務
宅配事業	宅配商品の商品案内書作成・企画、受注業務
店舗事業	店舗商品の仕入れ・調達、企画、店舗開発と出店計画
情報システム事業	宅配・店舗事業のシステム開発・運用
物流事業	宅配・店舗商品の仕分け事業、 会員生協配送センターまでの物流管理
生活サービス事業	旅行事業、提携事業、チケット取扱い業務

※東海コープ共済課は、2022年3月21日よりコープ共済連へ業務を移管しました。

■子会社の概要

株式会社コープサービス東海

所在地 名古屋市中区伊勢山2-8-21
NKCビル3F

業務 損害保険代理店業務、
生命保険募集に関する業務

※2022年3月21日より、株式会社東海コープ安全運転センターは、
株式会社コープサービス東海に社名変更しました。
合わせて事務所移転しました。

お問い合わせ：経営管理部 TEL 052-703-1769 FAX 052-703-5567

発行日：2022年6月15日 発行者：生活協同組合連合会 東海コープ事業連合



FSC® 認証

Forest Stewardship Council® (FSC®)は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする国際的な非営利団体です。FSCは、環境、社会、経済分野の利害関係者の合意によって支持された、責任ある森林管理の原則に基づく規格を定めています。この冊子はFSC® 認証紙を使用しています。



ベジタブルインクマーク

この冊子は、印刷インキ工業連合会が定めた大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、
パーム油等植物由来の油、及びそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした
再生油を使用した植物インキを使用し、印刷しています。

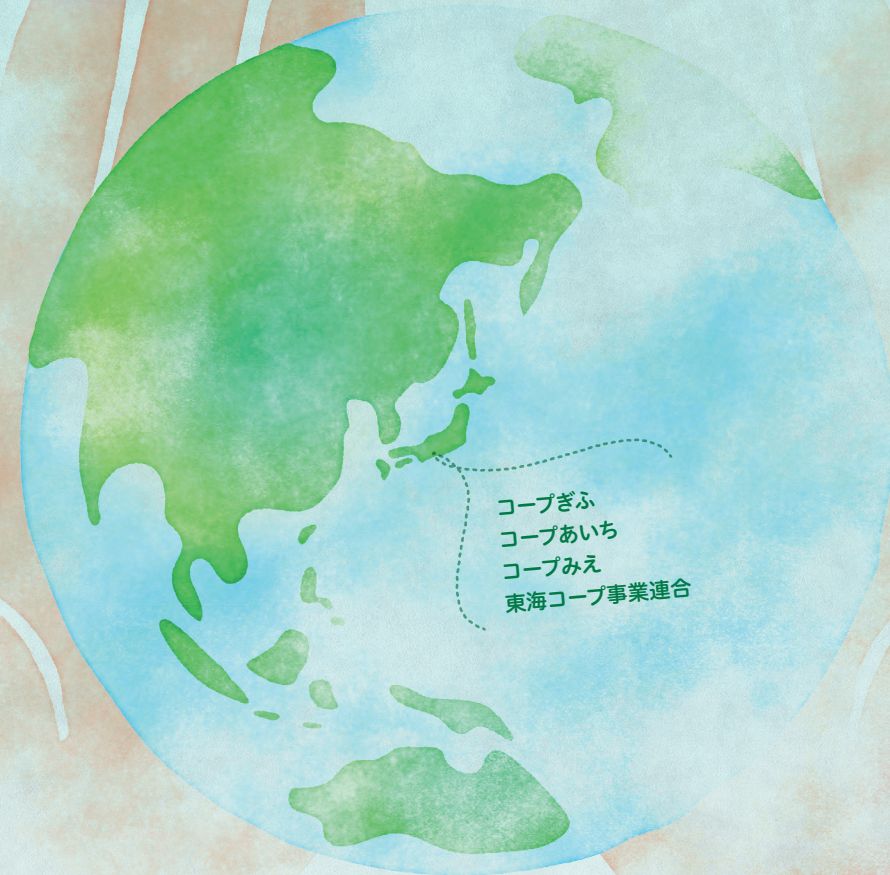


東海コープ事業連合

サステナビリティレポート

2022

TOKAI CO-OP
Sustainability Report



生活協同組合連合会 東海コープ事業連合

東海コープ事業連合の活動報告 発行にあたって

2021年度は、前年から続く新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出や活動自粛、五輪開催後の感染者の急増やワクチン接種等による感染者の激減など状況が目まぐるしく変化し、事業活動も予測を超えて動いた一年となりました。

その中で、方針に掲げた組合員の利用しやすいくみづくりにつながるよう、宅配・店舗の基幹システムの再編、e-フレンズの基盤整備と改善検討など着実に取り組んできました。

地場・地元商品の利用を高めるために「特別商品部準備室」を設置し、会員生協と連携して利用普及を行う中で、目標とした商品構成比26%を達成することができました。また、「コープの森づくり」や「うなぎ資源対策協力金」など東海コープ事業連合独自の取り組みやエシカル商品の普及も継続して会員生協と一緒に取り組んでいます。フードバンクへの商品の提供は地域のNPO法人を通じて9,800件(個人への支援件数)お届けするなど、継続した支援活動を行っています。

東海コープ事業連合は第5次中期計画(2022年～2026年)を会員生協と一緒に検討を行い、策定しました。今年はその初年度となり、利用しやすいくみの改善など、DXの推進により組合員のくらしに役立つ事業をめざしています。今回の中期計画では東海コープ事業連合の役割を明確にし、会員生協が掲げるSDGs目標を推進するための事業プロセスの充実など、ポストコロナを見据えた社会の変化に調和した事業への転換を進めていきます。

この春には2050年カーボンニュートラルをめざす「改正地球温暖化対策推進法」や「プラスチック資源循環促進法」などが施行され、生協にもより具体的な行動が求められます。ウクライナへのロシアの侵攻による原油価格や小麦等の高騰など、くらしをめぐる情勢はますます厳しくなりますが、会員生協のみなさんと一緒に持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

2022年6月



専務理事 小野 修三

SDGsは生協・協同組合の理念と重なり合っています

生協は、助けあいの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会であることを目指してきました。誰も取り残さないというSDGsが求めるものは、生協の理念と重なり合っています。世界を変えるための壮大な目標であるSDGs、達成には一人ひとりの日々の生活や意識を変えることが不可欠です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年9月ニューヨーク国連本部において、150を超える国連加盟国首脳が参加のもと、国連持続可能な開発サミットで採択されたものです。2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。本報告書では、SDGsの目標と関わりのある生協の事業・活動の事例にSDGsのアイコンを掲載しています。

	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する		気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する		包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する		持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する		各国内及び各国間の不平等を是正する		持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う		包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する		持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する		持続可能な生産消費形態を確保する		

未来につながる安心生活 東海の豊かな自然と、 人と人のつながりを大切にします

東海コープ事業連合の 理念

東海コープ事業連合 第5次中期計画 | 2022-2026(前期2022-2023/後期2024-2026) |

重点課題

- 持続可能な基幹事業、組合員のくらしの願いに応える宅配事業となるよう会員生協主体の中期戦略に基づき、リノベーションと持続可能な事業への改革を進めます。
- 魅力あるMDへの改革を進め、年代ごとの要望に応えます。
- 東海コープの役割を明確にした店舗事業へ転換をします。
- 宅配リノベーションの実現を担う物流基盤へ転換します。
- 会員生協と事業連合で連携して経営構造の見直し、一体的な人材育成に取り組めます。

INDEX

P.03	1 コープのエシカルな取り組み	P.08	5 くらしにお役立ちできる店舗へ	P.13	9 コロナ禍、くらしに合わせたサービスを提案
P.05	2 多様化する組合員のくらしに応える企画・紙面づくり	P.09	6 物流の改善・生産性向上の取り組み	P.14	10 運転とくらしの保障を通して地域や職場に安全と安心・笑顔をお届け
P.07	3 商品の改善・開発	P.11	7 安全と安心の取り組み	P.14	 編集後記
P.07	4 より便利に楽しく商品を利用できるように	P.13	8 職員の学習と働きやすい環境づくり		

1 コープのエシカルな取り組み

生協では地球や環境、社会や人々に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」（エシカル消費）と表現し、積極的に応援しています。エシカルとは「倫理的」という意味です。2021年度も様々な取り組みを行ってきました。

世界の子どもたちに笑顔を

CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト

コアノンロール1品購入につき1円、ユニセフを通じてアンゴラ共和国に寄付される活動です。寄付金は「アンゴラの子どもたちの教育環境を向上させる」ために使われます。

取り組み期間	2020年11月1日～2021年10月31日
寄付金額	847,262円(宅配757,092円、店舗90,170円)



レッドカップキャンペーン

「コープヌードルシリーズ」を中心に、商品案内2021年10月1週(40号)特集紙面で紹介しました。1品購入につき1円を国連WFP(人道支援機関)に寄付しています。

取り組み期間	2021年10月1週～11月2週
寄付金額	515,027円(宅配468,899円、店舗46,128円)



ディルマ スクールバッグ提供支援プロジェクト

エシカルの取り組みとして、組合員と一緒に支える、「スクールバッグ提供支援プロジェクト」を2017年8月から始めています。ディルマ紅茶製品を1品利用ごとに、1円を支援金として拠出されます。2021年度は2022年1月から小学校に入学するスリランカの子どもたちに、スクールバッグを85個届けました。コロナの影響で贈呈式に参加できないため、3生協(ぎふ・あいち・みえ)の副理事長の皆さんがWebメッセージ(動画)を送りました。



持続可能な生産を支援

CO・OP洗剤環境寄付キャンペーン

対象のCO・OP洗剤1品につき0.5円、WWFジャパン(世界自然保護基金)を通じて「インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農園の持続可能な生産を支援する」プロジェクトに寄付されます。

取り組み期間	2020年5月4週～2021年5月3週
寄付金額	323,418円(宅配299,054円、店舗24,364円)



資源保護と環境に配慮した商品活動

コープの森づくり

商品利用を通して、その商品の原料産地の森・川・海の環境を守り育てる取り組みを、北海道の野付、沖縄県の恩納村、インドネシアのタラカン島で、取引先の皆さんと協力し交流しながら進めています。「コープの森づくりマーク」がついた商品の利用1品につき1円を、森づくりをするための苗木代や管理費に充てられます。2021年度は約197万円を産地に送ることができました。2021年度は、コロナ禍のため、産地を訪問した植樹交流等は実施できませんでしたが、少人数での植樹資金贈呈式の実施や、商品マイスター講座での学習会実施等の交流を行いました。

●植樹本数の推移

植樹した年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	累計
沖縄県恩納村の里海づくり(サンゴ再生活動)	23	104	208	247	260	260	288	324	306	338	321	357	3,036
北海道野付のお魚を増やす植樹活動	500	330	50	530	500	530	750	730	700	700	700	700	6,720
インドネシア・タラカン島のマングローブ植樹活動	—	1,613	1,051	4,300	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	18,964



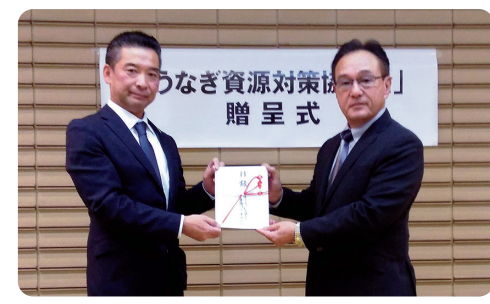
恩納村 植樹資金贈呈式



野付秋鮭の学習会(商品マイスター講座)

「うなぎ資源対策協力金」贈呈式

2021年11月1日、愛知県漁業協同組合連合会会議室にて「うなぎ資源対策協力金」贈呈式を行いました。供養祭、放流式は行わず、基金贈呈式のみ実施しました。対象期間(5月～8月)中、対象商品の利用1点につき3円を寄付金として拠出します(※日生協商品は仕入れ金額の0.1%)。2021年度、愛知県養鰻漁業協会へ約37万円、鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会へ約2万円、水産研究・教育機構(種苗研究)へ約2千円の寄付を行いました。寄付を通じてうなぎ資源の保護、増殖対策を応援しています。



うなぎ資源対策協力金贈呈式

乳がんについての啓発と患者・家族への支援

CO・OP化粧品ピンクリボン運動

対象のCO・OP化粧品1品につき1円、認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)に寄付し、乳がんに対する啓発活動や、患者や家族の支援を進めています。

取り組み期間	2021年9月1日～10月20日
寄付金額	75,078円(宅配66,096円、店舗8,982円)



要望に応える品揃え・企画づくりと注文のしやすさの両立を目指しました。

選びやすさを大切に ページネーションを変更

「東海3県うまい!」を再発見」ページを新設

2021年7月1週より、開発・地場・地元の関連商品のページを新設し、支所・センターの開発商品・要望商品、地場・地元の取引先商品を配置しました。



虹の会ページを裏表紙へ移動し価格訴求強化

2021年7月1週より、「虹の会イチ押し!」のコーナーを裏表紙に固定し、「取引先・生産者」「生協」「組合員の皆さん」が大切に育ててきた商品を特別価格・企画で案内しました。



コンセプトを明確にした紙面づくり

4つの切り口から「エシカル・SDGs」ページを新設

2021年7月1週より、4つの切り口(鮮度・美味しさ・こだわり・エシカル)から、「エシカル・SDGs」関連商品ページを新設し、栽培自慢・はぐくみ自慢・環境配慮商品・国産素材の看板を付けて案内しました。



若年層・共働き世帯へのページを強化

2021年7月1週より、コロナ禍で利用が増えた冷凍商品の強化として、簡単便利な冷凍食品ページを新設し、若年層・共働き世帯で利用が高い、「時短ごはんのススメ」ページを見直しました。



別冊媒体の充実

別冊媒体リニューアル

2021年10月1週より、別冊媒体、ヘルシーコープ【健康志向層】、StyleCoop【手作り層】、コープでウチごはん【共働き層】、特選【シニア層】のコンセプトはそのままに、企画内容・見せ方を変更しました。

第1週

第2週

第3週

第4週



Web広告・ハピハピボックスの取り組み

Web広告

地域の皆さんに向けて生協の広告を展開し、認知を広げ、加入いただくことを目的とし、東海3生協と一緒に進める取り組みを行っています。



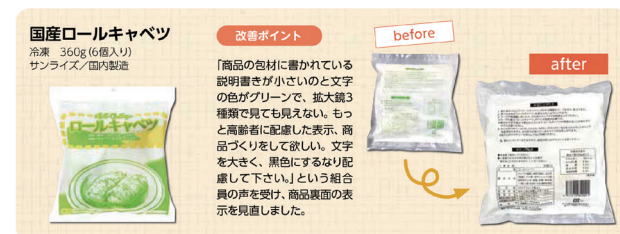
ハピハピボックス

コープぎふ・コープあいち・コープみえから、東海3県にお住まいの1歳未満のお子さまをお持ちの方へ、赤ちゃんの誕生をお祝いして29,504個のプレゼントをお届けし、7,373名の方に参加いただきました。
中京テレビにて、ハピハピボックスのCMを放映中です(毎週月曜・木曜夕方6時56分頃/情報番組キャッチ「かぞくのめばえ」の後)。



声をカタチに 改善・開発事例集の発行

会員生協組合員の商品づくりや商品改善、商品確かめ活動等、商品を中心としたコミュニケーションの事例を掲載しました。組合員・役職員・取引先等への情報発信と共有化を目指し、2021年4月、10月に発行しました。



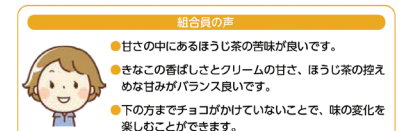
改善した商品の紹介事例

II 東海コープ事業連合発、会員生協（コープぎふ、コープあいち、コープみえ）で検討してもらう商品

東海コープ事業連合より試作品を提案し、検討いただきたいポイント（パッケージ、商品名、味等）を明確にして提案し、検討項目を絞って組合員と検討をすすめます。

きなことチョコがけほうじ茶ラテパー

●フタバ食品、瑞草園のコープ商品。岐阜県産ほうじ茶を活用したラテアイスの商品化できないか検討していました。コープぎふ岐阜西支所の組合員の皆さんに、試作品の味の確認、パッケージデザインの検討をしていただきました。



会員生協組合員との商品づくりの記事



岐阜西支所 商品検討の様子



冷凍 300ml (60ml×5) フタバ食品/国内製造

組合員との商品づくり

●三重県産真鯛のカルパッチョ

コープみえ松阪センター「商品活動をすすめる会」の皆さんと商品づくりをすすめました。三重県は海の特性を活かした養殖業が盛んです。三重県の養殖真鯛について学習会を行い、熊野灘の生簀（いけす）で丁寧に管理された養殖魚の魅力、コロナ禍で養殖真鯛の需要が減っていることを伝えました。

毎年年末に企画している養殖真鯛を普段の食卓にお届けできないかを検討し、手軽に召し上がっていただける商品になりました。



三重県産真鯛のカルパッチョ



コープみえ 松阪センター商品活動をすすめる会

●組合員との商品づくりでデビューした商品数（リニューアルを含む）

組合員との商品づくり	2021年度
組合員発、会員生協発の商品	1
東海コープ発、会員生協で検討してもらう商品	3
東海コープで開発（商品導入を含む）、会員生協モニターで完成させる商品	40
合計	44

●改善・開発事例集で情報発信した商品数

商品改善	2021年度
4月発行	6
10月発行	4
合計	10

●会員生協の要望で商品導入、開発をした商品数

県別商品	2021年度
農産商品部	5
水産畜産商品部	17
日配冷蔵商品部	6
食品商品部	22
生活雑貨事業部	11
合計	61

公式アンバサダーの活動

EC事業部では、生協の若年層向けにSNSの取り組みを強化しました。Instagramでは『東海コープ公式アンバサダー』を募り、生協商品の投稿をしていただくことで、様々な調理アレンジ、使い勝手が広がり、生協加入・利用再開につながっています。



インスタライブで商品交流

Instagram内で、インスタライブを始めました。東海コープの職員とメーカー担当者がインスタライブに出演して、商品特徴や使い方をお伝えしています。ライブで、その場に寄せられた質問に答えるなど、新しい形で商品のお知らせを行っています。



締め切り時間の延長

e-フレンズの注文締め切り時間が、配達曜日翌日22時から23時へ延長されました。これにより、注文締め切り間際のアクセス集中が分散され、利便性が向上しました。

《e-フレンズ締め切り時間延長のお知らせ》
e-フレンズの締め切り時間を、10月26日（火）より現在の配達曜日翌日の22時から23時へ延長いたします。尚、締め切り間際は大変混み合いますので、時間には余裕をもってご注文ください。



SDGsの取り組み

2021年11月と2022年2月に店舗全体の取り組みとして「エシカルチャレンジ企画」を行いました。「レインフォレスト・アライアンス」「MSC認証」「オーガニック」などの〈サステナブル〉商品を中心に店舗で取り組みました。店舗で扱うトレーは環境対応商品の導入を積極的に行い、店舗総使用量の約19%が環境配慮製品となっています。

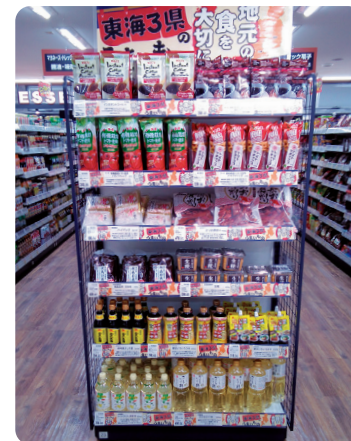
- レインフォレスト・アライアンス：農園の家族、野生生物、環境に利益をもたらす方法で栽培された農産製品を使用した商品です。
- MSC認証：水産資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期、生態系などに配慮した漁法でとられた水産製品です。



コープのお店ならではの品揃え

●地場・地元商品の取り扱い

地場・地元の商品を2021年度春夏棚割りで60品目、秋冬棚割りで43品目導入しました。東海3県の地場・地元商品を取り扱ったコーナーを導入し、組合員のくらしに寄り添った品揃えを実現しました。



●コープクオリティの全店展開

コープ商品の価値を伝える取り組みとして「コープクオリティ」商品を全店舗に品揃えしました。



●水産部門での「魚屋の寿司」導入

コープあいち岩田店のリニューアルに伴って、毎日新鮮な刺身を取り扱っている水産部門が作った「魚屋の寿司」を導入しました。



自動発注システムの導入（生産性向上）

店舗における発注作業の負担軽減と作業改善のために導入した自動発注システムをコープぎふ・コープみえ全店、コープあいち中型店に展開しました。また、自動発注に対応した品揃えの改善も各会員生協と一緒に取り組みました。



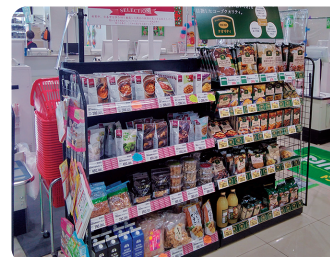
会員生協に寄り添った提案

2022年3月3日（木）コープあいち岩田店リニューアル、3月9日（水）コープぎふ長良店レイアウト変更の際は会員生協からの要望にあわせられるようコミュニケーションを取りながら進めました。

●コープあいち岩田店



●コープぎふ長良店



物流品質の向上

品質の向上では、委託先と一緒に申し出の多いアイス類の集品前工程の作業の見直し、寄せ作業のミス削減、器材内の異物混入削減、集品ミス削減など、品質向上に向けた取り組みを継続しています。

小牧要冷SC アイスの溶け対策(入荷～集品)

集品前作業の保管では、アイスクリームなど2020年度、溶けのお申し出が多かった商品を、カゴ車保管から保冷ボックス保管に変更しました。



集品前に保管BOXを使用



補充棚に遮熱材を使用

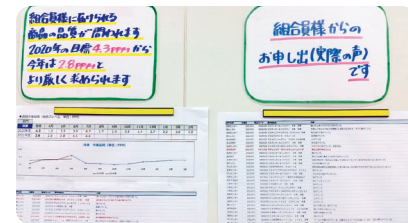
外気温に応じて使用する容器(Zシッパー)の容量を調整し、ドライアイスが入る空間を確保のため、2021年5月4週から現状より5%容積率を下げました。今後も外気温に応じて変更します。また、Zシッパーの劣化から冷気が漏れることで溶けのお申し出につながるケースもあるため、容器の入替えを行いました。



小牧要冷SCの掲示

異物混入削減、集品ミス削減など、品質向上に向けた取り組み

破損につながった商品やミスの多かった商品を掲示し、朝昼礼にて、現物を見て、商品の取り扱い時の注意を呼び掛けています。また、特徴的な大きいサイズの商品は、入れる方向や入れ方を全体で確認して、商品破損を防ぐ対策を行っています。



フードバンク活動

パッケージ変更や賞味期間が基準より短くなり、処分せざるを得ない商品を、NPO法人セカンドハーベスト名古屋とNPO法人フードバンクぎふを通じて支援を必要とするご家庭や諸団体にお届けしています。

2021年度に提供した量は、約70トン(前年比128%)でした。この間、コロナ禍でのまん延防止や緊急事態宣言もあり、フードバンク活動も一部縮小した時期もありましたが、継続した支援活動が展開されています。

特に、個人への支援件数は9,811件、前年比128%と大きく伸長し、約1万世帯の方に食料の詰め合わせをお届けしました。コロナ禍の影響を受け、支援が必要な方も増加しています。鈴鹿市社会福祉協議会へは549個の日用雑貨品を提供し、食にとどまらないくらしの支援にも取り組んでいます。

●セカンドハーベスト名古屋への生協商品提供と支援まとめ(2021年)生協からの提供

カテゴリー	重量(Kg)			
	2019年	2020年	2021年	前年比
一般食品	15,478	14,469	18,547	128.2%
パン	9,228	7,198	9,742	135.3%
冷凍食品	9,357	7,195	9,516	132.3%
冷蔵食品	13,283	9,980	9,799	98.2%
青果	14,854	11,761	18,568	157.9%
合計	62,200	50,603	66,172	130.8%



セカンドハーベスト名古屋



フードバンクぎふ

改善と並行して、基幹物流の改善を進めています。

働きやすい環境作り、職場環境の改善とコロナ対策

2021年度方針及び第5次中期計画に向けて宅配中期戦略と商品事業政策に沿って物流改革を進め、桑名SCの契約更新を視野に入れ、既存施設を最大限活用し、必要な労務環境の整備を中心とした施設改修を行いました。

空調設備の入替え

桑名SCの施設は1993年より使用しており、空調も同年に設置したものを28年間使用しています。また、3年ほど前より空調の配管より度々水漏れが発生し、集品機器への影響で機械停止、作業時間の延長、また暖房及び冷却が十分効かないことがありました。



庫内の作業スペースを含め全館の空調を新調しました。水漏れもなくなり、梅雨時期の湿気対策にもつながり、労働環境が大きく改善されました。

大型シーリングファンの設置(集品ライン、入荷口)

2021年7月より空調機器の稼働状態を向上させるために、大型シーリングファンを設置して、結露による労災防止や集品ライントラブルの抑制、夏場の熱中症対策、電力消費量の抑制、冬の感染防止を行いました。

●天井からの空気を循環させ、体感温度が下がり、夏場の作業環境への効果
●湿気による結露防止対策
●集品作業改善(機器停止抑制等)につながっています。



空気が循環されているというのはコロナ対策としては良い。パートの声
梅雨時期、施設内の結露が少なくなり機械停止が軽減された。夏場は以前に比べたら断然涼しく快適になった。

コロナ感染予防の取り組み(PCR簡易検査キットを常備)



●セカンドハーベスト名古屋での活用

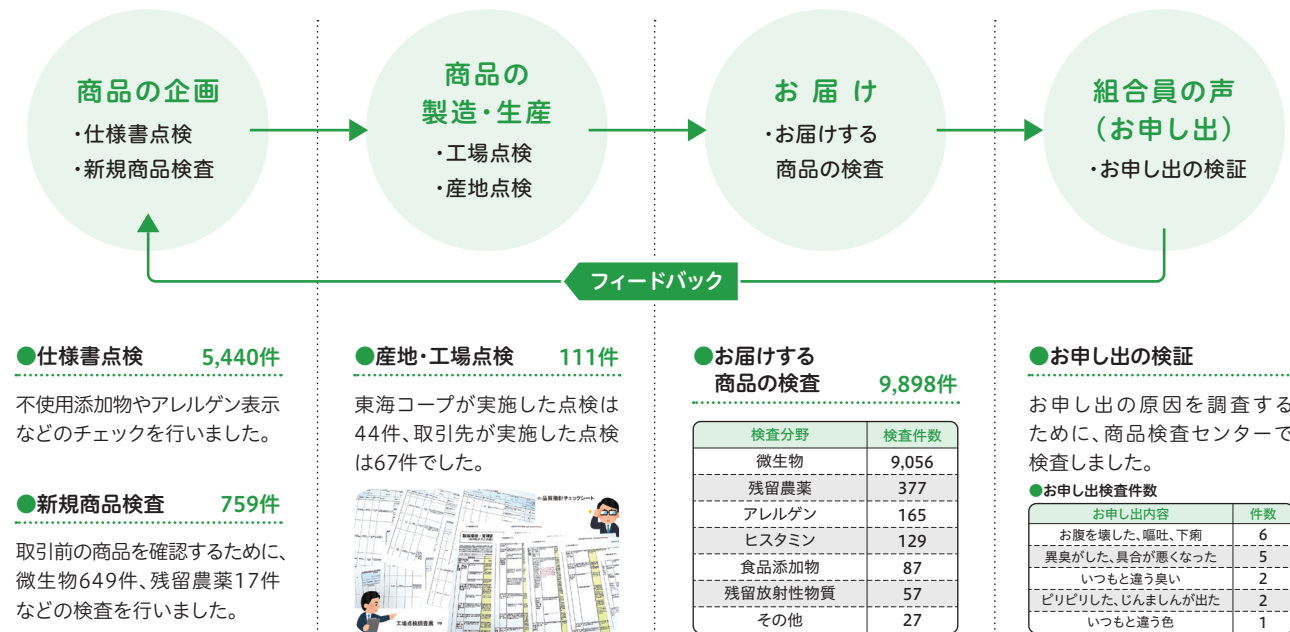
区分	カテゴリー	重量(Kg)				個人への支援件数			
		2019年	2020年	2021年	前年比	2019年	2020年	2021年	前年比
個人支援	一般食品	7,856	8,858	11,633	131.3%	5,066	5,656	7,811	138.1%
区分	カテゴリー	重量(Kg)				団体への支援件数			
		2019年	2020年	2021年	前年比	2019年	2020年	2021年	前年比
団体支援	一般食品	7,622	5,611	6,914	116.9%	1,260	1,639	1,338	81.7%
	パン	9,228	7,198	9,742	135.3%	1,492	1,207	1,298	107.5%
	冷凍食品	9,357	7,195	9,516	132.3%	2,272	1,535	1,652	107.6%
	冷蔵食品	13,283	9,980	9,799	98.2%	1,555	1,049	1,730	164.9%
合計	青果	14,854	11,761	18,568	157.9%	892	695	924	132.9%
	合計	54,344	41,745	54,537	130.6%	7,471	6,125	6,942	113.3%

●フードバンクぎふ、生協商品の引き取りと支援配布のまとめ(2021年度)

区分	カテゴリー	重量(Kg)				個人への支援件数			
		2019年	2020年	2021年	前年比	2019年	2020年	2021年	前年比
個人支援	冷蔵食品	1,888	3,861	3,652	94.6%	930	2,000	2,000	100.0%
鈴鹿社会福祉協議会		2021.5.10-2022.1.10				549個			

会員生協や商品部と連携し、商品管理とお申し出対応レベルの向上に取り組んでいます。

2021年度 品質保証の取り組み



リスクの早期発見と迅速な対応

仕様書点検による対応事例

eBASE (商品情報統合管理システム) による仕様書の点検でアレルギー表示、原料原産地表示、栄養成分表示などの間違いを指摘し修正につなげました。特に、アレルギー表示の間違いは重大事故につながります。2021年度は5件のアレルギー表示の間違いを修正しました。

商品案内の
アレルギー表示マークは
仕様書からデータをとるので、
正確な仕様書が必要です。

お申し出による対応事例

シッパー内袋などで灯油臭のお申し出が複数発生しました。過去の重大な事件の予兆では灯油臭などのお申し出が発生しており、念のため残留農薬検査を実施し事件性がないことを確認しました。

品質管理の力量アップを目指した取り組み

職員の力量アップを目指した取り組み

- 商品部、品質保証部、商品検査センター職員を対象に、遺伝子組換えをテーマにした映画「FOOD EVOLUTION」を視聴しました。
- 商品部を対象に、食品表示や食品衛生の学習会を開催しました。
- お申し出の現場で活用できる事例を東海3生協に情報提供しました。

取引先の力量アップを目指した取り組み

虹の会品質管理研究会としては、コロナ禍ということもあり、取引先の皆さんに製造ラインの衛生管理の情報を動画で情報提供しました。155社が視聴し、アレルギー管理に関する動画は664回、手洗いの注意点に関する動画は355回の視聴がありました。

HACCP制度化対応

食品衛生法改正による宅配と店舗事業のHACCP制度化に対応するため、会員生協のガイドラインづくりの支援や学習会を実施しました。

食の安全安心情報を発信

品質保証レポート2021と商品検査センター紹介リーフレットを作成し、生協の取り組みを紹介しました。毎週の商品案内では「おいしくて安全なお話」で世に合った情報を発信しました。組合員からのうれしい感想も届いています。

●組合員の声 読んで少しホッとしました。以前から私も「安全の基準が日本はゆるい」と聞いていましたので、どうして?国民の命を守ってもらえない?と不安に思っていました。今回、読ませてもらってということがよく理解できました。

除草剤グリホサートやネオニコチノイド系殺虫剤を、不安視する記事やTV報道があり、改めてこれらの情報を整理し東海3生協に情報提供しました。

移転後にレベルアップした商品検査センターの学習・体験機能の活用

学習会の対応や「安全安心」と「食と健康」の体験

週刊誌や報道などで食の安全についての話題が取り上げられる機会が増え、東海3生協からの問い合わせや学習会の要望が多くありました。コロナ感染拡大の収まった時期に感染対策を行いながら対応しました。

学 習 会	会員生協の職員・組合員の取り組み					
	ぎ ぶ		あ い ち		み え	
	会場数	人 数	会場数	人 数	会場数	人 数
	7	55	13	149	5	87

地域への お知らせ活動	地域での取り組み	
	ぎ ぶ	あ い ち
	岐阜女子大学祭 400人	長久手市立南中学校授業 285人

リモート見学の挑戦をしました

コープみえ鈴鹿センターと松阪センターで、商品検査センターの出張見学を行いました。会場と商品検査センターをWebでつなぎ、検査の様子を離れた会場でも見る事ができました。



生協の活動を広く知らせる活動

長久手市立南中学校の授業対応

長久手市立南中学校1年生(285人)の家庭科の食生活に関わる「食品の選択と購入」の単元で、企業の取り組みを紹介する授業「企業訪問による見学・体験」に協力しました。



生協さんはSDGsにつながる海や森の環境改善や食料不足を
苦しむ人々にも寄付したりする取り組みをしていたことを初めて知った。
自分たちの口に入る食べ物にはこの検査センターなどで安全が保たれ
ていられるとわかったことでセンターの存在に感謝し、
いまでは食料を大切にしようと思った。これから食品を選ぶときは
私は生協さんのような取り組みをしている会社のものを買ったり、
選んだりしようと思った。

夏休み親子実験教室を開催

コロナ禍のため家庭でできる実験を動画にしてWebで配信しました。257家族の多くの申し込み(2019年比170%)がありました。また、Webサイト上で実験結果の交流を試み、12件の紹介がありました。

国際果実野菜年2021の取り組み

東海コープは農水省が進める国際果実野菜年2021のオフィシャルサポーターになり、東海3生協の食と健康の取り組みを農水省のWebサイトで10件紹介しました。

(オフィシャルサポーターは2021年12月で終了)



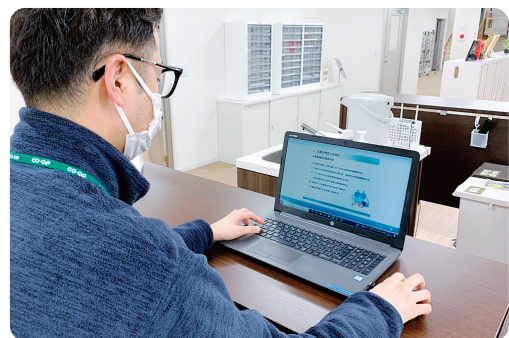
職員の学習と働きやすい環境づくり

eラーニングによる年間で学習できる習慣づくり、ワークライフバランスの実現などに取り組んでいます。

職員の学習

パソコン環境を活用したeラーニングを実施しています。パソコン環境のないパート・アルバイト職員には教材を配布し、職場学習を実施しています。

2021年度は「ハラスメント」「労務管理・健康管理」「倫理方針・行動規範」「BCP・災害対策」「内部統制・個人情報保護」を学習テーマとし、理解を深めました。



ワークライフバランスの実現に向けた取り組み

「ノー残業デー」「フレックスタイム制」を導入しています。

これまで隔週1回実施していた「ノー残業デー」の取り組みを、2021年度から毎週1回の実施に拡大しました。始業時と定時前の館内放送、掲示物や館内モニターなどでお知らせすることで定時退勤を促し、仕事とプライベートを両立できる環境づくりに努めています。

また、商品部や管理本部、宅配物流部などにフレックスタイム制を導入しています。フレックスタイム制で働き方にメリハリをつけ、業務効率を意識しながら仕事に取り組むことができ、総労働時間の削減につながっています。

※フレックスタイム制

1日の労働時間の長さを固定せずに、1ヶ月以内の一定の期間の総労働時間を定めておき、労働者はその総労働時間の範囲で各労働日の労働時間を自分で決めるという制度



新型コロナウイルスの影響により、在宅中心の生活が続く中、外出型消費から、巣ごもり型消費の生活様式が定着しています。

レンタルモップ新商品の導入

モップの保管場所に困るという声に応え、収納ケース付きモップを導入しました。また、高齢の方も使いやすいように、従来のモップに比べ約20%軽量化しました。レンタルモップは使い捨てせずに繰り返し使う、環境や資源に配慮したエコ商品です。昨年に引き続き利用者は拡大しています。



新商品
マイクロフロア
モップ

ケース収納時

巣ごもり生活を快適に、楽しく過ごすための
ハウスクリーニング、花頒布会の需要が伸長

タブレット学習教材スマイルゼミも、多くのお子さんに利用いただきました。

外出自粛が続く中、在宅で利用でき、お部屋の掃除・整理ができるレンタルモップ、不用品宅配買い取りは、昨年から継続して利用されました。また、巣ごもり生活を快適に過ごすためのハウスクリーニング、ふとん水洗いや、自宅で楽しめるお花の頒布会の利用が伸長しました。

コロナ禍でも利用しやすい、電子チケットを紹介

鈴鹿サーキットとモンキーパーク、サンリオピューロランドの売り券を電子チケットにて紹介しました。2021年4月～11月の8ヶ月で利用人数は、4,191名でした。

2022年3月21日より、生活サービス事業部は事務所を本部(名古屋市名東区)に移転しました。

運転部

運転者教育の目的は、自分で考え行動した結果に責任が持てる人になることを目指しています。

生協で発生した交通事故の調査、分析結果から交通事故を無くすためにどのような運転をするのか、「生協車両の運転方法」という教本を制作し、役職員誰もが習得し実行することを13項目にまとめ普及に努めました。

新入職員安全運転研修のテキストとして活用をはじめ、各職場で指導にあたってもらう安全運転主任トレーナーの指導書としても役立てました。

※運転部は、2022年3月20日をもって業務を終了しました。
安全運転教育は、それぞれの生協ごとに再構築が始まっています。



座学研修



新入職員安全運転実技訓練

保険部

2021年6月よりコープあいちの組合員対象に

無料ライフプランニングサービスを開始しました。

業務提携をしているコールセンターより組合員へ無料ライフプランニングサービスのご案内(お電話)をさせていただき、利用希望の組合員へ、業務提携をしている保険代理店のファイナンシャルプランナーがお金まわりの疑問、不安にお応えし、将来の人生設計を描くお手伝いをしています。

6月～12月で750名に利用いただきました。

●利用者アンケートの声(抜粋)

「ライフプランの記入をしながら現状をしっかりと把握して、次に備えておくべき事を明確にしていける気がします。まだ1回だけですがセミナーに行くよりも身近で良いサービスだと思います」「保険の紹介なども参考程度にあったが、それよりも家計やライフプランのことに真剣に耳を傾けて、適切なものを紹介してくれたことが嬉しかった」

編集後記

今も尚続くコロナ禍、ウクライナで尊い命が奪われている現状を目の当たりにし、私たちが掲げる理念、そしてSDGs達成に向けた取り組みは、今こそ沢山の皆さんと共に深め、前進させ、その本質に迫らなければならないと強く思います。今後、私たちのくらしや事業環境は厳しさを増し、強い向かい風に見舞われるとも推測しますが、皆で力を合わせて、胸に受けた風で体を立て直し、目線を上げて、幸せなくらし、未来に続く安心生活に向けて歩み続けたいと思います。

私たちは、昨年1年間の旺盛な議論を経て、「地域の多くの皆さんが生協ファンになって下さるよう努力をし合う」、そして「その営みで持続可能な事業をつくる」ことを柱とした会員生協の宅配中期戦略と、それらを含めた会員生協の事業活動を支える東海コープ事業連合第5次中期計画を定め、今期より力強く実践に移します。組合員、取引先など多くの皆さんとご一緒に力を合わせて持続可能なくらしや事業を進めて参ります。皆さんのご理解とご協力、どうぞ宜しくお願いいたします。



専務理事 根崎 周一

2022年6月